

# 東京四極だより

【書:篠田直雄 東京四極会初代理事長・昭和3年卒 高商4回】

<http://www.tokyoshiwasukai.jp/>

発行者 野易生会  
責任者 奥川隆  
行所 東京四極  
〒103-0007  
東京都中央区日本橋浜町3-45-3  
浜町野島ビル5F 浦崎税理士事務所内  
TEL/FAX: 03-5641-1542

## 平成二十六年度

# 東京四極会 定時総会開催!

### 若手・中堅会員も楽しく参加

5月31日(土)渋谷区の新日鐵代々木倶楽部において理事会および本年度の定時総会を開催した。出席者は来賓4名、会員57名となった。総会に先立ち11時30分から理事会を開催した。この中で総会議題の確認を行った。



員に多数出席いただき、また、昭和50年卒の会員が7名も顔をだしていたことが今回の総会の特徴だ。今後もこういう新しい動きが大きな変化につながることを期待する」

### 定時総会議事

- ・東京四極会のホームページ刷新関係を予算化
- ・消費税対応で次年度会費を4800円に改訂

総会の司会は河原事務局次長(第51回)、開会宣言は西依事務局次長(第46回)が行ったのち、姫野理事長(第44回)が挨拶した。



### 姫野理事長挨拶

「前回の新年会に引き続

「東京四極会のホームページ刷新関係を予算化

「東京四極会のホームページ刷新関係を予算化

た、姫野理事長から、消費税引き上げの対応として、来年4月からの年度会費を3000円アップの4800円としたいという提案がなされた。予算案は全員の賛意を得て承認された。



まず、相良四極会会長が、ふるさと大分の状況や四極会のトピックス、東京四極会への期待、ご本人の今期末での会長ご退任の意向などを述べられた。市原経済学部長



は、大学のグローバル運営と実績、そして四極会の支援へのお礼、学生の就職状況が高位安定していることなどに触れられた。乾杯の音頭は高橋副理事長(第44回)が担当。会



弘明(同)、財津昌宏(同)、友永英一(同)、永野基昭(第41回)、松浦靖弘(同)、栗林保幸(第44回)、田川俊夫(同)、高橋信行(同)、竹上英文(同)、姫野易之(同)、溝辺憲治(同)、宮田豊(同)、佐藤勝峰(第45回)、西依章郎(第46回)、遠藤孝行(第47回)、小川義光(同)、松浦隆志(同)、松田俊秀(第48回)、山下政晴(同)、下村晃(第49回)、伊賀勝秀(第50回)、奥川隆生(同)、渋谷室作(同)、小橋薫(同)、鶴田幾雄(同)、豊田秀造(同)、土田謙二(同)、河原文博(第51回)、石川公博(第53回)、大坪孝幸(第55回)、國廣保彦(第56回)、河邊清美(第57回)、近藤昌則(同)、阿部万寿夫(第59回)、上村憲吾(同)、亀井俊幸(同)、田尻清司(同)、小林伸彦(第60回)、内田孝一(第61回)、岸照雄(同)、松木正典(同)、高橋哲夫(第63回)、千葉史(第68回・平成5年)、丸尾克弘(第72回・平成9年)、時松真男(第73回・平成10年)、島津侑香(第80回・平成17年)、島口大治郎(同)、黒木昭博(第81回・平成18年)、成瀬淑恵(同)、宇戸裕生(第83回・平成20年)



参加会員(敬称略)  
荒木襄(第30回)、寺田洋太郎(同)、渡邊俊彦(第31回)、梅谷寛雄(第38回)、江藤浩一(同)、小迫邦彦(第39回)、佐藤泰久(同)、石橋泉三(第40回)、梅崎

### 今後の予定

- ◆若手会員の集い 8月4日(月)
- ◆たまには歩こう会 年数回を予定
- ◆東京四極囲碁会 年数回を予定
- ◆秋の懇親ゴルフ 9月17日(水) 習志野カントリークラブ
- ◆平成27年新年会 2月7日(土)
- ◆新日鐵代々木倶楽部 春の懇親ゴルフ 4月中旬富士カントリークラブ
- ◆平成27年理事会 6月6日(土)
- ◆新日鐵代々木倶楽部

東京四極会のホームページが生まれ変わりました!

各種情報を発信中! 問い合わせもHPからできます。

<http://www.tokyoshiwasukai.jp/>

また、従来からの問い合わせも使えます。

E-mail: info@tokyoshiwasukai.jp Fax: 03-5641-1542





**総会・懇談会の  
スナップをどうぞ!!**


**平成25年度 東京四極会活動報告**

H25年			
4月	1日	「東京四極だより」第63号発刊(会報通算124号)	
4月	8日	第58回「たまには歩こう会」(奥多摩旧街道・浅間尾根)	参加者5名
4月	8日	第18回「東京四極会杯」ゴルフコンペ IN 御殿場(御殿場・富士カントリークラブ)	参加者10名
5月	11日	第59回「たまには歩こう会」(谷根千を探访)	参加者11名
5月	20日	監事による監査(三菱養和会)	
5月	25日	東京四極囲碁会(赤坂囲碁ラウンジ)	参加者11名
6月	1日	平成25年理事会開催(新日鐵・代々木倶楽部) *H24年度活動報告・決算案並びにH25年度予算案審議について	出席理事12名
7月	6日	第11回四極会理事会&第5回評議員会・支部長会議 IN 広島 (会場:リーガロイヤルホテル広島)	姫野理事長出席
8月	5日	第60回「たまには歩こう会」(奥多摩の名峰・大岳山)	参加者15名
8月	5日	若手会員の集い(ニュートーキョー田町店)	参加者15名
8月	24日	東京四極囲碁会(赤坂囲碁ラウンジ)	参加者16名
9月	1日	「東京四極だより」64号発刊(会報通算125号)	
9月	18日	第19回「東京四極会杯」ゴルフコンペ IN 茨城(取手桜ヶ丘ゴルフクラブ)	参加者13名
9月	21日	第61回「たまには歩こう会」(秋色の尾瀬ヶ原を往く)	
9月	27日	四極会と大学との懇談会 IN 大分(大分センチュリーホテル)	姫野理事長出席
11月	7日	第62回「たまには歩こう会」(横須賀軍港めぐり)	参加者14名
11月	23日	第63回「たまには歩こう会」(鐘撞堂山から円良田湖へ)	参加者5名
12月	14・15日	東京四極囲碁会 合宿(湯河原たつみ荘)	参加者16名
H26年			
1月	11日	平成26年「たまには歩こう会」新年会(赤坂月世界ビル 月の市場)	参加者20名
2月	1日	東京四極会新年会開催(新日鐵・代々木倶楽部)	参加者71名
3月	14日	第12回四極会理事会 IN 大分(会場:大分トキワ会館)	姫野理事長出席
3月	15日	東京四極囲碁会(赤坂囲碁ラウンジ)	参加者11名



**平成25年度収支決算 & 平成26年度収支予算**

<平成26年3月31日> (単位:円)

区分	費目	25予算	25決算	決算差額	26予算
収入の部	(1)経常収入(年度会費)	1,350,000	1,350,000	0	1,350,000
	<会費納入者数>	<300名>	<300名>		<300名>
	(2)事業収入(総会会費他)	630,000	694,000	64,000	732,000
	(3)その他(受取利息)	300	230	△70	230
	収入合計	1,980,300	2,044,230	63,930	2,082,230
支出の部	(1)事業活動費(総会費他)	1,200,000	1,426,192	226,192	1,276,000
	(2)本部関係(支部分担金)	350,000	350,000	0	350,000
	(3)運営費(人件費他)	433,000	426,855	△6,145	638,000
	支出合計	1,983,000	2,203,047	220,047	2,264,000
剰余金	差引本年度 剰余金	△2,700	△158,817	△156,117	△181,770
	前年度 繰越金	1,342,574	1,342,574	0	1,183,757
	期末未処分剰余金	1,389,874	1,183,757	△156,117	1,001,987

◎平成25年度末 財産目録(単位:円)  
 ◇一般会計会計残高 1,183,757  
 ◇募金会計残高 7,184,048  
 合計 8,367,805

◎監査報告  
 監事 西山 喜代美  
 監事 松岡 幸秀

※この写真を含め懇親会のカラー写真が東京四極会ホームページに掲載されています。



# 日本一の「おんせん県おおいた」

大分県東京事務所 おんせん県おおいた課長

阿部万寿夫(第59回)



おんせん県おおいた  
http://www.onsenkenoita.com/



面は高い評価を頂きまし

要潤の「うどん県香川

県)」、有吉弘行の「おし

いー広島県など、ご当地

出身タレントを起用した

動画の制作や、熊本県の

「くまもん」に代表される

ゆるキャラの展開など、

今や全国の自治体はPR

戦国時代の様相を呈して

います。

2006年を境に日本

が人口減少社会へ移行し

ました。しかも少子高齢

化。これは地方自治体

にとって、今後、定住人口の

増が難しくなるというこ

とであり、死活問題です。

ならば、交流人口の増を

目指そうと言う論理にな

り、そこで思いつくのは

観光振興による地域活性

化。政財界も2000年

代初頭に観光等による地

域振興の取組を声高に叫

び始め、2008年には

観光庁が創設されまし

た。一方、地方自治体とし

ては、観光客に来て貰う

酸水性泉(例:塚原温泉火

山)

の強

い冷泉(例:寒の地獄温

泉も揃っています。なか

でも最近話題なのは、泉

質の異なる2つの温泉に

入浴し、それぞれの効能

の相乗効果が期待できる

「機能温泉浴」。例えば、ク

レンジング効果のある硫

黄泉(例:明礬温泉)の後、

保湿効果のあるメタケイ

酸の温泉(例:鉄輪温泉)

に入るお肌のシヤン

プーとリンス効果が期待

できると評判です。この

ような機能温泉浴が出来

るのも、異なる泉質の温

泉が密集している大分県

ならではの話。当に「日本

一のおんせん県」だと自

負しています。

大分県では、昨年のC

M成功に気を良くし、今

年は東京事務所に「おん

せん県おおいた課」を創

設して首都圏でのPR活

動に本腰を入れることと

なりました。しかし、全国

の情報が集中し、官民共

に情報戦にしのぎを削

る首都圏でのPRは簡単

ではありません。大阪や

福岡で流したCMも、東

京では何億円もの経費が

かかるためTV放映は難

しい状況です。おんせん

県おおいた課に課された

ハードルは極めて高いで

すが、課員9名のフット

ワークと地縁、血縁、知

人、友人等のネットワー

クを駆使して、東京のメ

ディアを中心、温泉を

はじめとする大分県の素

知度を飛躍的に高めてい

ていきたいと考えていま

## 『四極会が好きだった』

わが回想録① 寺田洋太郎(第30回)



昭和31年、私は出光興

産に入った。成績優秀な

らば門司本社か、新しい

東京本社勤務になろう

が、私は大分から遠い東

北支店に配属された。

仙台に着任して間もな

く、ゼミの内田先生のお

勧めで先輩方を訪ねて挨

拶した。

大先輩は塩竈で太平洋漁

業系の缶詰会社を運営さ

れており、冷凍機用の潤

滑油を買ってください

た。小野田セメントには

幹部二人、西松建設では

会長がナイトクラブの

美女たち大勢を呼んで下

さったので大変な熱気

だった。それ以来、私は東

京四極会が好きになっ

た。

七人だった仙台に比べ

て大変な大所帯なので、

卒業年次毎の幹事役理事

がいて、定期的な理事会

が開かれ、運営等を協議

する仕組みができてい

た。しばらくして私は大

懇親の輪が広がった。

会の運営に欠かせない

会費集めは、名簿が頼

り、名簿整備は学年幹事

の仕事だった。理事会で

は同期生の会費納入状況

が配られるので、成績が

芳しくない期の理事の出

席は、勢い奮わなかった。

事務局長は、昭和48年

から55年まで高商出の白

木賢二さん。あとを引き

継いだ松川正さんが風呂

敷包みに資料を入れて会

## 東京四極会春の懇親ゴルフ

今年も御殿場市の富士

カントリークラブで、4

名と、いつもの半数でし

た。

しかしながら、強風な

がらも好天に恵まれた上

に、桜は満開。参加者は和





だ一日でした。  
 参加者：田中五郎(30回)、  
 江藤浩一(38回)、中川鐵  
 一(40回)、佐藤勝隆(45  
 回)、高橋信行(45回)、山  
 下政晴(48回)、石松英二  
 (48回)、野村聡(52回)

気あいあいながら真剣に  
 プレーし、本当に楽しく  
 有意義な一日を過ごしま  
 した。

スコアは強風のため皆  
 さんいつものラウンドよ  
 り、7〜8打悪かったよ  
 うでしたが、大波やイー  
 グルもあり、波乱にとん

## ●●●●●●●●●●●● 囲碁会の活動ごしらべ

東京四極囲碁会は、3か  
 月に一度の頻度で開催し  
 ています。2月、5月、8  
 月は、赤坂見附駅の近く  
 の赤坂囲碁サロンにて、  
 10時から夕方の5時まで  
 トーナメントを行い、そ  
 の後は近くのイタリア  
 ン・レストラン「月の市  
 場」で懇親会を行っています。

11月は、湯河原のたつ  
 み荘にて、一泊二日の合  
 宿を行っています。たつ  
 み荘は10人も集まると貧  
 乏状態となる、小さな温  
 泉旅館ですが、魚屋さん  
 が経営していることから  
 料理がおいしく、皆さん  
 に好評です。

2月は22日(土)に行  
 い、田中典明さん(第48  
 回)が優勝し、測光太郎さ  
 ん(第33回)が準優勝でし  
 ました。5月は24日(土)に行  
 い、松浦靖弘さん(第41

回)が優勝し、箕部源治さ  
 ん(第37回)が準優勝でし  
 ました。その他の参加者は以下  
 の通りです。(敬称略)  
 弓部義繁(第29回)、中里  
 憲治(第44回)、吉光忠興  
 (第52回)

利男(第37回)、梅谷寛雄  
 (第44回) 参加ご希望の方は、東  
 京四極会事務局へご連絡  
 下さい。  
 囲碁会幹事 松岡幸秀  
 (第52回)

## 比企三山の最高峰・大霧山(767m)へ(第65回歩こう会)

5月26日(月)の午前9  
 時に東武東上線の小川町  
 駅に顔を揃えたメンバー  
 の通りです。(敬称略)

みなながら「ポピー畑に  
 行って来たが丁度満開で  
 素晴らしいかったよ」と  
 言っていた。  
 およそ30分ほどで左に  
 入る山道の表示を見つけ  
 そちらに向かう。曇って  
 いるため本来見えるはず  
 の大切り山も見えない。

右手に一基の石仏をやり  
 過して間もなく再び車  
 道に出た。直進すると峰  
 の集落、右方面は秩父高  
 原牧場へ通ずる道だ。こ  
 こが標高538mの粥新  
 田峠だ。ところが入口の  
 道標には「粥仁田峠」と記  
 していた。左手の山道に  
 入ると休憩舎があり、大  
 きな道標の看板が立って  
 いた。小休止して汗をぬ  
 ぐ、喉を潤した。峠の手  
 前に車を駐車した夫婦が  
 ハイキング姿で降りてき  
 たので、我々も大霧山目  
 指して午前11時スター  
 ト。稜線通しの登山道に  
 入る。登り始めはやや急  
 であったが、すぐに灌木

本来なら大霧山山頂か  
 らは北側と北西側の展望  
 が開け、北西には両神山  
 や甲山、北には牧場(手  
 前に広大なポピー畑)の  
 遙か彼方に赤城山、南東  
 には笠山と堂平山を望め  
 るはずで、展望図も設け  
 られていたが、残念なが  
 らこの日は霞んでいて  
 まったく展望はなかつ  
 た。牧場の方から男女4  
 人連れが登ってきたが、  
 やはり、「ポピー畑が見ご  
 るで、感激した」と話し、  
 携帯の写真を見せてくれ  
 た。

朝食を摂ることにして  
 思い思いにベンチャ草の  
 上に腰を下ろし持参の弁  
 当を広げた。幹事(梅谷)  
 が持参したコップフルで  
 お湯を沸かし、インスタ  
 ントコーヒーで一服。そ  
 のうち少し空が明るく  
 なってきたらしく、「ポ  
 ピー畑が見える」との声  
 が聞こえたのでその方向  
 を見てみたが、ぼんやり  
 と赤い色が広がっている  
 のみではっきりとは見え  
 なかった。

正午に4人連れの後を  
 追って山頂を出発。稜線  
 を南に下ると。ところどこ  
 ろ急坂もあるが全体に歩  
 き易い下り道だ。東南一  
 帯は牧場地で道の左手に  
 は牧場の鉄条網が続いて  
 いる。放牧の牛の姿はな  
 く、また笠山や堂平山も  
 見えない。ひたすら黙々  
 と先を急ぐ。



しばらくしてやや登り  
 返したところが二子山  
 (724m)の小ピーク。  
 この先の檜平で90度左に  
 道をとり、急坂を下ると  
 まもなく白石集落と定峰  
 集落を結び旧街道と大霧  
 山から定峰峠へ降る尾根  
 道(関東ふれあいの道)が  
 交差する旧定峰峠だ。

旧定峰峠には道標があ  
 り、石の祠やダイダラ  
 ポッチ伝説の説明板が設  
 けられていた。ここで先  
 行する4人連れに追いつ  
 いたので、道を左にとり、  
 経塚バス停方向へ向かう  
 彼らの後に続いて我々も  
 経塚を目指す。  
 いったん林道に下りる  
 が800mほどで山道に  
 入り、雑木林の中の歩き  
 易い道を下って行く。途  
 中で山草の名前を图鉴で  
 調べていた一行を追い抜  
 いて我々が先行することに。  
 やがて橋を渡りしば  
 らくすると再び林道に出  
 て、沢沿いのだらだらと  
 した道を下る。またかな  
 り先だと感じていたのに  
 突然人家の脇に出てそこ  
 が経塚のバス停だった。  
 小川町着が午後2時35  
 分。ここで解散としたが、  
 「ひとまず雨に会わずに  
 良かったね」と言いなが  
 ら、全員東武東上線に乗  
 り、川越市駅以降三々  
 五々分かれて帰路に着い  
 た。参加者(生田陽代・松  
 永政弘・松永幸一・溝部  
 憲治・梅谷寛雄)以上5  
 名

〔※第61/62/63/64回  
 の記事は東京四極会ホーム  
 ページをご覧ください〕

謹んでお悔やみ  
 申し上げます  
 (敬称略)

日名子 五郎(第37回)  
 平成25年4月15日  
 渡辺 裕幸(第48回)  
 平成25年12月17日  
 岡村 匡房(第34回)  
 平成26年1月9日  
 岡部 勝清(第39回)  
 平成26年2月11日  
 平田 謙治(第38回)  
 平成26年2月18日